

2020年 10月発行

山梨県 桃の会

HP <https://momonokai.org> E-mail meri-sannokuni@softbank.ne.jp

会報第73号

☆ 一人の人間になるために ☆

ある時
子供を「私の子供という感覚」ではなく
一人の人間として感じた時
言葉に尽くせない淋しさを感じる
それは、もう親として立ち入る領域が無くなったとを感じるからである
しっかりと握っていた手を「早く放して!」とふりほどかれたように・・・
子育ての中で訪れる
親とし乗り越えなくてはならない試練だろうか
沢山の学びと喜びを与えてくれたことに感謝しつつ
訪れた精神的な別離を
淋しさと喜びをかみしめながら受け入れよう
どんなことも受け入れる覚悟と共に



出会う、つながる、わかちあう

KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 山梨支部



▪ 過保護がもたらすもの

過保護という言葉は多くの人にとって子供をだめにするというイメージが強いと思いますが、子供が望んだことを望んだ通りにやってあげてやりすぎることはないそうです。

児童精神科医の佐々木正美先生は「過保護で子供を育てそこなった事例を見たことがない」とおっしゃっています。

とても大事なことは「子供が望んだことを望んだように」ということで親の望むことではないことです。

「おんぶとか抱っこを望むようにいくらやってあげても歩かない子供にはならないしその方が精神的な自立をしていくのです」とも佐々木先生はおっしゃっています。

▪ 否定され続けることで失うもの

自分を否定されるということはことばによるものだけでなく過干渉、支配、放任、虐待などが含まれると思います。

自分の存在を否定され続けていると年齢を重ねても自分自身(アイデンティティ)の構築ができません。

「知能と肉体の成長と社会性の発達とは別のもので、知能と情緒性、社会性の落差が大きければ大きいほどその子供の人格は支離滅裂になってしまいます。」(子どもへのまなざしより)生きていく力は知能の発達だけでなく内面の発達が必要になります。内面の発達に不可欠なものが「信じる力」です。「信じる力」はまず自分を受け入れてくれる人との出会いがなければ育ちようがないのです。植物が地中に根を張れないのと同じです。不安感が強く人を信じる力が弱いということは、自分も信じられてこなかったということになります。

そういう人が増え続けていると感じます。

彼らは非常な生きづらさのリスクを抱えながら生きていくことになるのです。

▪ 父と息子の心の交流

そのお父さんは桃の会にご夫婦でよくおみえになりました。こちらから話しかけても多くを語らない物静かな方でした。

でも息子を何とかしたいという思いは伝わってきました。ある時からお母さん一人で参加されるようになりましたので、お父さんのことを伺いましたら体調を崩されたということでした。

そのお父さんが昨年だったと思いますがあまり会話のない息子に「何も出来なくて済まない」と言われ息子はそれに対して「申し訳ないのはこちらの方だ」と返したそうです。お互いの心と心が通じ合った瞬間であったと感動したのを覚えています。

そのお父さんが9月下旬にお亡くなりになりました。

今でもその時のことを思い出すと胸が熱くなり感情が甦ります。

お父さんに感謝のことばと共に心からご冥福をお祈りしたいと思います。



ミニグループトークを開催しました！



☆ 心を開き繋がる居場所 ☆

コロナ禍が続く中、皆さんのそれぞれの想いを持ってミニグループトークを開催しました。当事者の方も数名参加されました。2時間という短い時間の中ですが、皆さん一人一人お話しされたいことが山ほどあるなあ・・・と感じました。

自分の内面から溢れる、自分だけでは抱えきれない思いを話すことは、どこでも誰とでも出来ることではありません。

やはり会のメンバー同士つながりが大きな安心感となり心を開ける場所になっているのではないかと思います。

桃の会は7年目を迎えますが、その年月の歩みと時間が、集まる皆さんの何とかしたいという思いと共にその繋がりを作り上げたのではないのでしょうか。

ミニグループトークに参加して何か明確な答えが出て、現状が大きく変化するわけでもないのですが、開催することに目に見えぬ大きな意義があると実感するのです。

安心感のある関係の中で素直な気持ちになれた時心のどこかに気付きが生まれてくるような気がします。

自分自身を変える事は難しい事ですがそこに小さな気付きを与えてくれるのは人との関わりしかないのです。

何故なら他者を知ることが自分を知ることになるからです。



ありがとうございます！

最近ある方から「桃の会の為に使って下さい」と寄付を送って頂きました。住所もお名前も書いてありませんでしたので、この紙面をもってお礼を申し上げます。とても有り難く感謝申し上げます。



お知らせ ***

* 当事者スペース再開！

しばらくお休みしていました当事者スペースを開きます
広めの部屋で間隔を取り消毒もしっかり行います。安心してご参加下さい。

* 山梨県ではSNS(ライン)相談を行っています

出かけられない、人と話すのは苦手という方には是非ご利用頂きたいと思います。

- ➡ 相談日時 月曜日から土曜日 16時～21時迄
- ➡ アカウント名 やまなしひきこもり相談



月例会

10月月例会は休止致します ミニグループトーク、当事者スペースは開催します

10月も月例会はお休みさせていただきます。

夏の猛暑と長引くコロナ禍で体調を崩されていませんか。

早いものです。一年の4分の3が過ぎていきます。

コンビニや自分の興味ある所へは出かけられていた人も、感染の不安でどこにも出かけられなくなり閉塞感で心身共に不調に落ちいる当事者もいらっしゃるの事を耳にします。

どんな状況下においても、ひきこもる当事者や家族の苦しみはずっと続いています。

決して後回しにされたり隅においやられたりすることは避けなければなりません。

見通しのたたない状況の中で私たちは生活を生きていくのですから、コロナに振り回されないで正しく恐れて、今やるべきことを見失わないようにしたいものです。

今月はミニグループトークの後、午後から当事者スペースを開きます。コロナ禍の中で暫くお休みしていましたが、世話人の方々と話し合い「続ける」ことを大事にしようということになり再開することになりました。一人でも二人でも「スペースに行きたい」という人の想いを大事にしたいと思います。家族の人も当事者の人も「話す」「聴く」大切な時間にしましょう。



★ミニグループトーク

10月25日(日)10時～12時

ぴゅあ総合 会議室

少人数でゆったりとお互いに語り合う場です。参加費は500円です（当事者は無料）

★当事者スペース

10月25日(日)13時～16時

ぴゅあ総合 会議室

農園でギャザリングしよう！

画55㎡（約17坪）1年間 市民農園：1区6,000円
場所：甲府市七沢町
友達、家族などで一緒に畑で過ごしませんか！
お問い合わせ：055-243-0261（相良農園）

すみれ会

10月の集まりはお休みさせていただきます
お問い合わせ：090-5416-8748（清水）
*すみれ会は桃の会とは別に地域で活動している家族会です

◆11月の予定



*ミニグループトーク 11月22日(日)10時～12時 ぴゅあ総合 美術工芸室

*当事者スペース 11月22日(日)13時～16時 ぴゅあ総合 美術工芸室

お問い合わせ TEL&FAX 0266-55-5411 090-6190-8677 桃の会事務局

